

## 2020 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 豊橋中央高等学校 ] 担当教諭名 [ 藤井 範子・高倉 嘉男 ] ( 2年A組 32名 )

相手国・地域 [ 台湾 ]

海外学校名 [ National Shan-Hua Senior High School ] 担当教諭名 [ Hui-Yen Yang / Ching-Yi Chang ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な探究の時間	総合的な探究の時間	6
	コミュニケーション英語	コミュニケーション英語	1

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	新型コロナウイルス
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	Wipe out COVID-19 with technology and daily measures for our bright future. 私たちの明るい未来のために、科学技術と日常的な予防策を駆使して新型コロナウイルスを撲滅しよう。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
世界でもっとも新型コロナウイルスの封じ込めに成功している台湾から、その成功の知見を得ることができた。両者ともアートマイル経験者だったため、質の高い交流と壁画制作を実施することができた。	新型コロナウイルスの影響で修学旅行が中止となり、相手校を訪問できなかった。本校では AICL は「修学旅行事前学習」という名目で実施しているため、修学旅行がなくなると、実施時間の確保が難しくなるのが課題である。

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
海外の高校生と英語で交流するというのは、生徒たちにとって初めての経験だったので、最初は緊張感があった。実際に交流を行ってみると、台湾の高校生の積極的で明るい笑顔に、生徒たちの緊張も解け、もっとお互いの国のことを知りたいと頑張る姿が見られた。台湾について、あまり良い印象を持っていなかった生徒もいたが、台湾で直接交流するのを楽しみにするようになった。	コロナ感染拡大による生活の変化等、英語で説明し、テレビ会議で伝えるためにパワーポイントを作ったり、学校に残って壁画を描いたり、時間も労力も必要であったため、生徒は嫌がるかと心配したが、皆協力して完成させることができた。一緒に作業することで仲良くなり、楽しみながらやり遂げることができた。生徒たちが成長したと感じた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	Skype を使って自己紹介をした。	英語での自己紹介は、かなり緊張していた。台湾の生徒の明るさと積極的な様子に驚いていた。	総合
共有 テーマ学習	10月	Skype を使って日本と台湾の新型コロナウイルスの状況を報告し合った。	パワーポイントを使用して、発表を行った。班で話し合い、英訳し、それを読む練習をしてから交流した。皆真剣に取り組んでいた。	総合
融合 メッセージ作成	11月	Skype を使って壁画のデザインのパーツを共有し合い、そこに込めた思いを報告し合った。	パワーポイントを使用した。日本独自の警戒アラートや疫病退散の願いを込めたアマビエや花火等を紹介した。台湾の高校生活の報告もあった。	総合
創造 壁画制作	12月	壁画を制作した。 Skype を使って完成した壁画を披露した。 グリーティングカードを交換した。	壁画に描いた一つひとつの絵について、どのような思いで描いたのかを、お互い伝え合った。グリーティングカードを送った相手と対面できて喜んでいた。	総合 コミュニケーション英語
評価 振り返り 自己評価	3月	3学期終業式で全校に完成した壁画を披露し、活動を報告した。	苦勞して描いた絵に、台湾の高校生の絵が加わり、完成したのを見て、感動していた。完成度が高かった。	全校集会

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	5	日本が基準で、今の自分の生活が当たり前だと思っていた生徒たちが、世界には違う文化や常識があると肌で感じる事ができた。視野が広くなり、積極性も出てきたと感じる。また、日本について発表する中で、日本への理解も深まった。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	台湾や日本について興味は持ったが、それを深めるところまではできなかった。
主体的に考え行動する力	4	課題が与えられれば、それをグループで話し合い、協力することはできるようになったが、主体的に動くことまではできていない。今どうすればよいのかを考え、周囲の人に相談できるようになった。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	4	台湾の高校生が自分の意見を持ち、それを恥ずかしがることなく堂々と発表する様子を見て、最初は戸惑っていた。しかし、自分の言葉に台湾の生徒が反応してくれると嬉しくなり、もっと伝えたいと積極性が出てきた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	台湾を知らない、または良いイメージがない生徒もいたが、交流していくうちに、偏見がなくなっていく。自分の思いを伝えたいとメッセージ作成や壁画制作に時間をかけ、グループで協力していた。